

在ムンバイ日本国総領事館海外安全対策情報
平成28年度第2四半期（平成28年7月～9月）

1. 治安情勢

- マハラシュトラ州パルバニでI S I L関係者の4人が逮捕
7月14日、マハラシュトラ州パルバニにおいて、シリアにいるI S I L関係者とSNSを通じて連絡を取っていた者が逮捕された。同人は、他の仲間とともにオーランガバードの警察本部の攻撃等を計画しており、逮捕時には爆弾も押収されている。
- グジャラート州で宗教対立による暴動で1名死亡
7月21日、グジャラート州ラージョート地区ゴンドアル市において、ヒンドゥー教徒とイスラム教徒による衝突が発生し、140人以上が逮捕され、1名が死亡した。
- マディアプラディッシュ州ジャバルプールでS I M Iの関係者が逮捕
9月12日、MP州ATS（テロ対策局）は、ウッタープラディッシュ州の隠れ家から逃走した者の携帯電話を解析し、MP州ジャバルプール在住のS I M I（スチューデント・イスラミック・ムーブメント・オブ・インディア）の関係者を逮捕した。
- チャティスガル州でナクサライトとボーターポリスが衝突
9月28日、3人の女性マオイスト指揮官がチャティスガル州サックマ地区における治安部隊との戦闘で殺害された。

2. 邦人に係る一般犯罪情勢

殺人・強盗等凶悪犯罪の事例

- ア 殺人
邦人被害の事件は認知していない。
- イ 強盗
邦人被害の事件は認知していない。
- ウ 強姦
邦人被害の事件は認知していない。

3. テロ・爆弾事件発生状況

期間中、誘拐・脅迫事件の発生はなかった。

4. 誘拐・脅迫事件発生状況

期間中、誘拐・脅迫事件の発生はなかった。

5. 対日感情

良好である。

6. 犯罪統計

ムンバイ市警察本部は、2016年1月1日から8月21日までに認知した犯罪件数について統計を発表した。主な犯罪の認知件数は以下のとおり。

- | | | | |
|------|--------|----------|-------|
| ○ 殺人 | 96件 | （前年同時期対比 | -10件） |
| ○ 強盗 | 466件 | （同 | -23件） |
| ○ 傷害 | 2,936件 | （同 | +14件） |

- 恐喝 168件 (同 -3件)
- 強姦 443件 (同 -6件)
- 窃盗 4,289件 (同 -125件)
- チェーン・スナッチング(※) 319件 (同 -299件)

(※) 女性が首等に身につけている貴金属をひったくる犯罪

殺人・強盗・恐喝等の凶悪犯罪は前期に引き続き昨年比でほぼ横ばいである。昨年発生が目立ったチェーン・スナッチングについてもムンバイ市警察がパトロール強化等対策を実施した結果、前期に引き続き減少傾向を示しているが、報道によると未だ電車内でネックレスをひったくられるケースが散見されることから注意が必要である。

今期(8月・9月)は、日本人旅行者(いずれも大学生)が現地でインド人らしき人物に声を掛けられ、意気投合して気を許した後に現金等の所持品を窃取される事案が連続発生したことから、見知らぬ相手を簡単に信用せず、貴重品は何かあっても肌身離さず自身で管理することを徹底する等の細心の注意を払う必要がある。